

(博士前期課程) ロボティクス&デザイン工学研究科 ロボティクス&デザイン工学専攻 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

ロボティクス&デザイン工学研究科は、実世界の課題解決を通じた実践的な研究開発活動を柱の一つとし、本研究科博士前期課程は、工学的な知識・技術を活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与する高度専門職業人材を育成する。

<求める人物像>

1. ロボティクス、システム設計、建築学、インテリア・プロダクトデザイン学などの専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を基礎とする柔軟な思考力の礎を築いている人物
2. 上述の専門知識を活用し、課題を自ら発見し、独創的な方法で課題解決に取り組もうとする人物
3. 研究者・技術者としての倫理観、使命感を確立し、生涯にわたり自分を改良し続ける重要性を認識し、その姿勢を身に付けようとしている人物
4. 的確な表現方法・技術を用いたコミュニケーション（英語ほか多言語によるコミュニケーションを含む）によって、自らの考えを対面および時間・空間を超えて伝える意思のある人物
5. 持続可能で豊かな世界の実現に寄与する意思のある人物

入学前に学修しておくことが期待される内容

専門分野における基礎的な学力だけでなく、分野横断的な幅広い知識・技術の理解に必要な能力を修得していること、自主的・継続的に課題解決に取り組む姿勢を身に付けていることが望まれる。

学内進学者入試

「面接試問」および「書類審査」により大学院教育を受けるに足りる基礎知識を有しているかを判定する。出願に先立ち、必ず専攻（領域）の指導教員に対し事前相談を行い、研究分野に齟齬がないか確認する機会を設けている。

一般入試

「学科試験」「面接試問」「書類審査」により大学院教育を受けるに足りる基礎知識を有しているかを判定する。出願に先立ち、必ず専攻（領域）の指導教員に対し事前相談を行い、研究分野に齟齬がないか確認する機会を設けている。

外国人留学生入試

「学科試験」「面接試験」「書類審査」により大学院教育を受けるに足りる基礎知識を有しているかを判定する。出願に先立ち、必ず専攻（領域）の指導教員に対し事前相談を行い、研究分野に齟齬がないか確認する機会を設けている。

社会人入試

「面接試験」「書類審査」により合否判定を行う。必要により基礎学力に関する検査を行う場合がある。出願に先立ち、必ず専攻（領域）の指導教員に対し事前相談を行い、研究分野に齟齬がないか確認する機会を設けている。